

平成24年度(2012年度) 建設コストの計画と実績

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成23年度まで (B)	平成24年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	第二東海自動車道横浜名古屋線 御殿場JCT～長泉沼津IC新設事業	149,403	0	127,858	127,858	△ 21,544	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、附帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	第二東海自動車道横浜名古屋線 長泉沼津IC～浜松いなさJCT新設事業	1,019,303	104	897,860	897,965	△ 121,337	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、附帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	中部横断自動車道 六郷IC～増穂IC新設事業	74,373	0	887	887	△ 73,485	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、附帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。平成24年度は増穂ICを一部施工し、引渡しを行っている。
	近畿自動車道尾鷲多気線 紀伊長島IC～紀勢大内山IC新設事業	52,070	0	37,838	37,838	△ 14,231	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も事業損失補償、附帯工事、財産整理及び完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道西宮線 養老JCT(北側)新設事業	12,327	0	9,081	9,081	△ 3,245	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も附帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	第一東海自動車道 海老名JCT～海老名IC改築事業	41,488	35,387	1,897	37,284	△ 4,203	海老名IC～相模原愛川ICの開通に合わせて一部を完成し供用を開始しているが、財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	東海北陸自動車道 郡上八幡IC～ぎふ大和IC改築事業	13,401	10,375	1,372	11,747	△ 1,653	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	近畿自動車道名古屋山線 勝川IC改築事業	940	98	421	520	△ 419	ICの改築事業は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事及び完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 海老名IC～相模原愛川IC新設事業	102,382	0	61,945	61,945	△ 40,436	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事や移管に伴う財産整理等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 厚木PA新設事業	6,880	0	2,298	2,298	△ 4,581	厚木PA(上り線)の完成は平成25年度を予定している。平成24年度は厚木PA(下り線)の一部を完成し、引渡しを行っている。
	北陸自動車道 白山IC新設事業	1,203	0	1,039	1,039	△ 163	工事等数量の確定等により、差額が生じたもの。
	中日本高速道路株式会社管理する高速道路 に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	51,967	546	969	1,516	△ 50,450	H24年度は3箇所の工事の一部引渡しを行っており、他のスマートIC事業を引き続き実施すること等による。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 大垣西IC～養老JCT新設事業	1,681	0	1,177	1,177	△ 503	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も付帯工事及び完成図作成等の残事業を引続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道富士吉田線等 平成24年度修繕事業	42,807	-	31,784	31,784	△ 11,022	工事発注時期の見直しや台風の影響に伴う工事遅延等による引渡時期を次年度以降に変更したこと等による。
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	50,122	13,552	1,118	14,670	△ 35,451	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。平成24年度は、平成23年及び24年の台風で被災した箇所の一部引渡しを行った。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成24年度修繕事業	63	-	32	32	△ 31	点検結果等により、補修実施時期を次年度以降に見直したこと等による。
一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路)) 平成24年度修繕事業	290	-	16	16	△ 274	点検結果等により、補修実施時期を次年度以降に見直したこと等による。	

注1) 平成24年度(2012年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めず記載している。なお、 は、平成24年度に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成24年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成23年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。